

令和元年度

島根県教育センター教育研究発表会

講演

子ども・保護者の願いに寄り添う指導・支援のあり方
—いじめ・不登校、「チーム学校」を切り口に—

講師

かすがい

としゆき

春日井 敏之 先生

参加申込不要

立命館大学 教授

とき 2019年6月8日(土)

14時00分～16時00分

ところ 島根県教育センター 2階 講堂

(島根県松江市内中原町255-1)

講演の概要

「子どもや保護者に寄り添う」とはどういうことでしょうか。子どもや保護者の内面理解と指導・支援、及び生活環境の改善のためには、一人の教師では限界があり、「チーム学校」によるネットワーク支援が求められています。また、いじめの認知件数は40万件を超え、不登校の児童生徒数も小中学校で14万人余りと増加し続けています。このような課題に対して、どのように指導・支援をしていけばよいのか、一緒に考えましょう。

春日井 敏之(かすがい としゆき)先生のプロフィール

京都府内の公立中学校に社会科教諭として赴任し、20年余り勤務。生徒指導、教育相談等を長く担当する。2001年より立命館大学文学部教育人間学専攻に着任。専門は、臨床教育学、教育相談論。2009年～2011年は教学部長、2015年～2016年は学長特別補佐、2017年～現在は大学院教職研究科長を務める。1990年代より、不登校の「親の会」などに関わりながら、地域における不登校への支援にも参画し、現在「登校拒否・不登校問題全国連絡会」の世話人等を務める。学校現場の教師等とのケース・カンファレンス(事例検討会)も長年数か所で継続している。いじめ問題第三者委員会にも参画している。

【問い合わせ先】 島根県教育センター

研究・情報スタッフ 舟越 真雄

松江市内中原町255-1

Tel 0852-22-5872